

タイ国
バンコク首都圏居住環境改善計画調査
事前調査報告書

平成12年9月

国際協力事業団

序 文

日本国政府はタイ王国政府の要請に基づき、同国のバンコク首都圏居住環境改善に係る調査を実施することを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施することと致しました。

当事業団は、本格調査に先立ち、本件調査を円滑かつ効果的に進めるため、平成12年8月16日から8月26日までの11日間、及び同年8月30日から9月7日の9日間にわたり、都市基盤整備公団居住環境整備再開発部部長 乙丸勝範氏を団長とする事前調査団（S/W協議）を現地に派遣しました。

調査団は本件の背景等を確認するとともに、同国政府の意向を聴取し、かつ現地調査の結果を踏まえ、本格調査に関するS/Wに署名しました。

本報告書は、今回の調査を取りまとめるとともに、引き続き実施を予定している本格調査に資するためのものです。

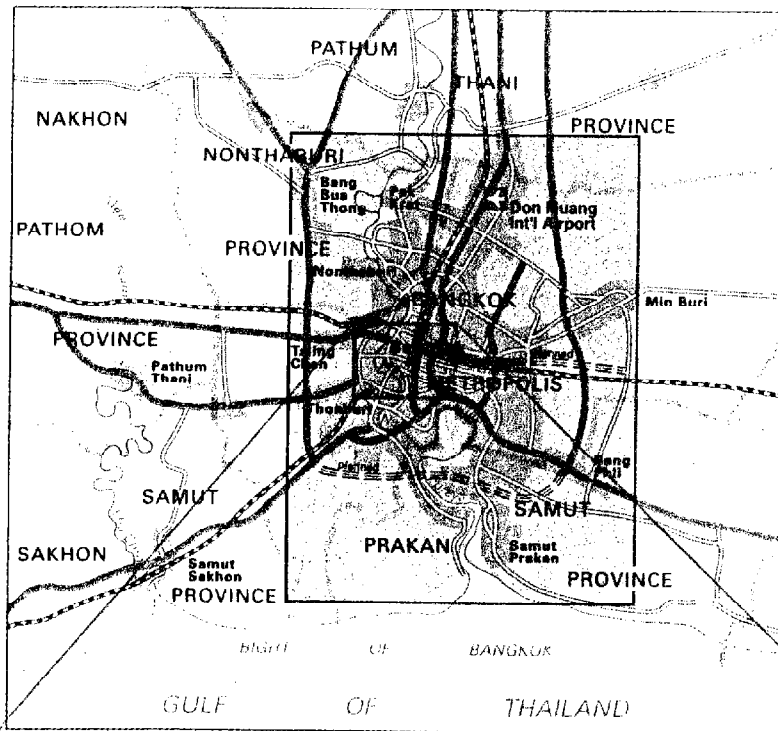
終わりに、調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成12年9月

国際協力事業団

理事 泉 堅二郎

調査対象地域地図



バンコク中心地における位置



再開発地区拡大図



現地調査写真

【全体の土地利用現況】

- 計画対象地であるディンデン・マッカサン・ファイクァン地区（約500ha）は、商業施設、政府機関、中層の公共住宅（一部には分譲の高層住宅もある）、公共施設、スラム等が混在する地区である。
- 同地区は、バンコク中心街に隣接した東北部に位置するが、周辺の高層、都市化が進むなかで、島状に中・低層の建物が連なる地区を形成している。



■市内Baiyoke Towerより見た計画対象地の全景：鉄道、高速道路ジャンクションなどのある交通の要衝でもある。



■地区内の高層住宅より見た対象地区：周囲の高層化が進むなかで、中・低層の建物が多くを占めている。

【地区内部の状況】

- 地区内部は、南北を結ぶ1本の幹線道路が地区を貫通している以外は、狭隘な袋小路がほとんどであり、特に東西方向への幹線道路は乏しい。
- 公共の住宅団地は、中層が主体で、建物の老朽化、駐車場の不足などが見られる。その一方で、団地内の広場には屋台や露天商が店を並べるなど、生活臭のある風景を見ることができる。



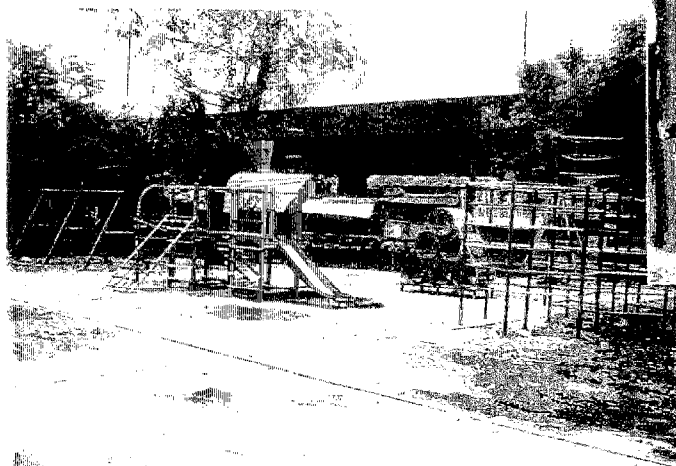
■団地内の広場では屋台や露天商店が出され、賑わっている。



■地区内を南北に貫く幹線道路。一部では並木が育ち緑陰を提供している。



■建物の老朽化とともに、駐車スペースの不足も見受けられる。



■中層住宅では、ピロティー方式が多く、駐輪場などの共有空間として利用されている。

■団地内のプレイ・ロット。粗末ながら遊具も整備されている。

【地区内スラムの状況】

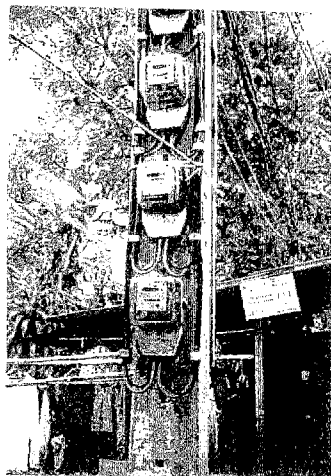
○スラムの内部は、訪れた箇所のみからいえば、道路こそ人の歩くことが精一杯の狭隘なもので、粗末な家屋ではあるが、コミュニティ・センター、電気、公衆電話、水道、消火栓などが整備されており、ある程度の基盤設備は整った状況にある。



■高速道路と運河沿いに形成された
スラム外部からの景観



■内部には狭い歩道が1本あるのみ
で、両側に粗末な家屋が立ち並ん
でいる。



■スラム内には、コミュニティ・セ
ンター、公衆電話、電気、消火栓
などが整備されており、一応の基
盤設備は存在している。

目 次

序文

調査対象地域地図

現地調査写真

第 1 章 事前調査の概要	1
1 - 1 要請の背景、事前調査の目的	1
1 - 2 事前調査団の構成	2
1 - 3 事前調査日程	3
1 - 4 協議の概要	5
1 - 5 協議を通しての所感	7

第 2 章 本格調査への提言	9
2 - 1 対象地域の概要、課題	9
2 - 2 調査の基本方針、対象範囲	9
2 - 2 - 1 調査の目的	9
2 - 2 - 2 調査対象地域	9
2 - 3 調査項目とその内容・範囲	11
2 - 4 調査工程と要員構成	14
2 - 5 調査実施上の留意点	14
2 - 5 - 1 調査実施上の留意点	14
2 - 5 - 2 本格調査に向けての留意点	16

資料

1 . 要請書 (TOR)	23
2 . Scope of Work (S / W)、Minutes of Meeting (M / M)	29
3 . 面談者リスト	54
4 . インタビュー記録、ローカルコンサルタント・リスト	60
5 . 収集資料一覧	65